

防コミの歩き方



自分たちのまちは、自分たちで守るための防災訓練!

長田区の丸山地区防災福祉コミュニティのエリアは、長田区北端の山麓地域に位置し他の防コミに比べ非常に広範囲で、道路狭隘、木造密集、急傾斜地が多いという特徴があります。また、エリア内には土砂災害警戒区域が多く含まれています。

●土砂災害警戒区域対策

丸山地区では、毎年11月に地域住民、小中学生、地域内の社会福祉施設、所轄消防分団など地域ぐるみで土砂災害を想定した要援護者を含む避難および防災訓練を実施しています。



●市民による消火対策

また毎年5月に、隣接する名倉地区防災福祉コミュニティと合同で地域内(一里山町)にある獅子ヶ池北側の広場で消火訓練を実施しており、今年も晴天の下、28日10時より約80人が集って、熱心におこなわれました。

長田消防団第1分団の指導のもと、小型動力ポンプの操作説明と獅子ヶ池の水を実際に揚水しての放水訓練を4台のポンプを使って一斉におこないました。

地震などの大規模災害時には消防隊の駆けつけに時間を要するおそれもあるこ

とから、到着するまでの間、市民による消火をおこなうための小型動力ポンプやホース、筒先等の消火用資機材が公園等に耐震性防水水槽と一緒に設置されています。

丸山地区内には4カ所に設置されており、名倉地区内にも同様に小型動力ポンプ等の消火用資機材が1カ所設置されています。

このような事情から丸山地区と名倉地区では災害に備え、毎年繰り返しホース延長を伴う小型動力ポンプによる消火訓練を実施しています。



●最後に

それぞれの訓練には、女性の参加も目立ち、男女を問わず防災に対する意識の高さを感じました。引き続き災害に備え、両地区が協力し合い減災に取り組んでいただきたいと思います。

(長田消防署 甲斐康之)

